

## 第三者評価結果の公表事項(児童自立支援施設)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

### ②評価調査者研修修了番号

SK15163 SK15164 S25015 S25016

### ③施設の情報

名称：岐阜県立わかあゆ学園	種別：児童自立支援施設	
代表者氏名：高木 清孝	定員（利用人数）： 50（暫定14）名	
所在地：岐阜県揖斐郡大野町桜大門457		
TEL：0585-32-2240	ホームページ： <a href="http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kekkon/jido-fukushi/22312/wakaayu.html">http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kekkon/jido-fukushi/22312/wakaayu.html</a>	
<b>【施設の概要】</b>		
開設年月日 明治42年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：岐阜県		
職員数	常勤職員： 16名	非常勤職員 11名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	園長 1名	栄養士 1名
	事務職員 2名	調理業務 3名
	自立支援専門員 9名	施設業務 6名
	生活支援員 2名	雇員 1名
	家庭支援専門相談 1名	嘱託医 2名
	心理療法担当 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	居室 11室 静養室 3室 指導当直室 2室	（設備等） 管理指導棟（園長室、事務室、教室 図書室、音楽室、美術室、理科室、 保健室等） 浴室4 トイレ4 ホール4 和室1

### ④理念・基本方針

#### 理念

「克己心を育て敬愛の精神を培う」

「共感・共汗・共学」

#### 基本方針

- ① 健全な生活・・・目標を持ち、規律ある健全な生活づくりができる
- ② 生きていくための学び・・・責任を持ち、最後までやり抜くことができる

③ 働く大切さ・・・働くことの大切さ、喜びを実感し、経済的な自立をめざすことができる  
今年のキーワードは  
今日までの積み重ね、変化をさらに、  
◎ 深める（深化）  
◎ 仕事は「先手」子どもには「後手」

#### ④ 施設の特徴的な取組

・他者への心づかいや配慮する心を育まれるよう、感謝の気持ちを相手に伝えようとのことで職員も参加しての「ありがとうキャンペーン」や「支え、やっただいていいる」事をシールに書き出し、掲示している。  
・日常的に職員は子どもたちと話し合い、問題を解決しているが、そのほかに子どもたちの意見や不満、苦情は意見箱をフルに活用することで意見が伝わるという仕組みが確立されている。  
・よく食べ、よく働き、よく眠るという三能主義、汗を流して一生懸命物事を行えば、おのずと道は開けるとい流汗悟道、暗渠の精神等の伝統的理念を基に園での健全な生活、働く大切さ、生きるための学びという3つの学園の枝と共に、共感、共汗、共学を職員の姿勢というスローガンを掲げ、勉学、作業指導等、子どもたちの支援に取り組んでいる。

#### ⑥ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年5月19日（契約日）～ 平成30年2月15日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成26年度）

#### ⑦ 総評

##### ◇特に評価の高い点

<子ども一人ひとりとのふれあう時間を大切にしている。>

職員は「子どもの3倍動き働く」をモットーに、子どもの手本となるよう、積極的に支援活動を行なう等、何事にも一生懸命対応している。また担当職員は1日10分以上、1対1の個別的にふれあう時間を持ち、子どもとの信頼関係を築いている。また、施設職員は「タケノコ指導」として節目節目に子どもとのふれあう時間を設定している。

<自立支援指導計画に基づく支援体制が確立されている。>

入園から退園までの自立支援指導計画が子ども一人ひとりの状況に応じて作成され、明確に意識化でき、見通しを持った指導、支援を行っている。

<豊富な様々な活動の体験により人間性が育まれる。>

農作業、調理、創作活動としての陶芸や切り絵、自然体験としての登山、ボランティア活動としての高齢者施設の訪問や近隣の公共施設の清掃活動等、様々な特別活動を通して人間性の

成長に役立っている。また野球は全国第3位、地域の各種マラソン大会での優勝や入賞等の成果を体験することで達成感、協調性等が養われ、人間性が育まれている。

#### ◇改善を求められる点

##### <マニュアル等、書類の整備>

子どもとの関わりについては、職員チーム一丸となって、情熱を持って接しているが、マニュアルの系統的な整備が十分できていない。今後、マニュアル等の文書化に向けた取り組みに期待したい。

##### <TPOに合わせた服装ができるよう支援することが望ましい。>

衣類は制服やジャージ以外にも年齢やTPOに合わせた服装を提供する等して、衣習慣を習得できるよう支援に努められたい。

#### ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

評価結果について、驕ることなく真摯に受け止め、今後も創意工夫を重ね、支援の質を高められるよう職員一同努めていきたいと思えます。また、ご意見を頂いた事項は平成30年度の重点課題として取り上げ、できることから改善に向けて取り組んでまいります。

#### ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。